



第2600回 例会

2015. 7. 16

会長あいさつ



関口 和夫会長

週報 No.2046

発行 2015年 7月 23日

会長 関口 和夫
幹事 藤村 作
副会長 久保田 勲
副幹事 樋口 雅之
編集責任者・
クラブ広報委員長 長沼 大策

ビジターゲスト
米山記念奨学生
周 彬(しゅうびん) 君

7月30日 定款の規定により休会
8月6日 青少年奉仕・広報
奉仕プロジェクトセミナー報告
(献血 10:00~16:00)
8月13日 定款の規定により休会
8月20日 早朝例会(ラジオ体操)
点鐘6:30 上平公園
8月27日 管理運営セミナー報告

皆さん、こんにちは。本日も、ご出席ありがとうございます。
先週は、例会の日の夜にプログラム委員会と、会員増強維持委員会
がありまして、藤村幹事と出席しました。また、本日は上尾高校の曾
根校長先生と、インターデクトクラブの顧問の鈴木先生にご挨拶に行
ってきました。米山奨学生の周君ようこそ。
先週は朝顔市でしたが、7月9、10日は浅草寺のほうずき市がありま
した。浅草寺によれば観音様の縁日は18日ですが、室町時代以降に功
徳日(くどくび)と呼ばれる縁日が新たに追加されました。この日に
参拝すると、百日分、千日分の参拝に相当するご利益が得られると信
仰されてきました。中でも7月10日の功德は千日分と最も多く、「千日
詣」と呼ばれていたそうです。享保年間(1716年~36年)頃から「四
万六千日」と呼ばれるようになり、そのご利益は46,000日分(約126
年分)に相当するとされるようになったそうです。米一升分の米粒
の数が46,000粒にあたり、一升と一生をかけたと言われていたことが、
定かでないそうです。この10日の一番乗りで参拝したいという思いか
ら、7月9、10日の両日が四万六千日の縁日と受け止められるようにな
ったそうです。また、この両日には「ほうずき市」が開かれます。も
ともとは、芝の愛宕神社の縁日に始まり「ほうずきを水で呑みにする
と、大人は癪を切り、子どもは虫の気を去る」と言われる葉草とし
て評判であったようです。愛宕神社の縁日は観音様の功德日になら
ない四万六千日と呼んでいたようですが、四万六千日ならば浅草寺が本家
本元とされ盛大になったとされています。また、雷除けに「赤とうも
ろこし」を吊るす習慣があり文化年間(1804年~18年)以降に売られ
るようになりまして。明治初年に赤とうもろこしの不作が隆に、らび
との要望により四万六千日の縁日に「雷除」のお札が浅草寺から授与
されるようになったそうです。
今週末は、上尾祭りです。氷川神社の歴史について調べてみまし
た。「鎌太神略由来」によりますと、寛永8年(1631年)に桶川宿か
ら着た童子が台車に櫃を載せて上尾宿に引いて歌い踊り、江戸まで送
りました。12月31日に江戸から戻り、上尾の本陣前で動かなくなり、
童子は消え失せたそうです。翌正月に櫃を開けると、中に鎌2挺と稲穂
が入っていました。そこで、本陣前に社を建て鎌2挺を祀り、稲穂を供

Rotary AGEO ROTARY CLUB

えたと伝えられています。神体の鎌は五穀守護の豊
鎌入姫命(とよくわいりひめのみこと)で、稲穂を
「御小稲」と称して種を増やして庶民に分け与えま
した。創建の由来は、絵馬に再現されています。御
鎌太神宮と呼ばれていましたが、明治41年(1908
年)に上尾村総鎮守の氷川神社から女体社を合祀し
て、今の名前になったそうです。
この為、御祭神には須佐之命の御妃の稲田姫命も
祀られています。身近な上尾の歴史を、知って頂け
ればと思います。
以上をもちまして、会長挨拶とさせていただきます。

社会奉仕委員会 野瀬将正副委員長

先程、幹事報告にもあり
ましたように、献血の当番
表を配りました。時間帯ご
とにお名前を入れましたが、
もしもご都合が悪ければ時
間帯を入れ替えていただ
ければと思います。



ロータリー米山記念奨学金授与

米山記念奨学生 周 彬(しゅうびん) 君



就職活動の面接や会社説明会と時間が重なり、今
月は出席率が低くて申し訳ありません。1つのいい
ニュースとして、面接した会社は来月からぜんぶ次
の選考に進めることができている。皆さんのご支
援の期待に応える就職先を見つけたと思います。

例会主題 セミナー報告

クラブ研修リーダー 尾花正明会員

6月26日に浦和バルコの
9Fでセミナーが開催され
ました。今までは新年度に
なって半年くらい経ってか
らクラブ研修リーダーのセ
ミナーが開催されていたの
ですが、今回は、地区研修リーダーである大塚バスター
パナーの意向で新年度になる前に行われました。
クラブ内での、クラブ研修リーダーの役割について、ガ
バナーからお話がありました。クラブの活動が円滑に
行われること、そして新しいメンバーがうまくクラブの中
で受け入れができるような雰囲気づくりをすることが必要
だとお話がありました。
またクラブ内の研修で使えるCDが配布されました。
今後、プログラム委員会と相談しながら、どこかで活用



幹事報告

久保田 勲副会長

◆7月18日にはロータリー
財団部門セミナー、7月19
日には米山記念奨学部門
セミナーがそれぞれ開催さ
れます。担当委員長の方は
ご出席のほどお願い申し
上げます。
◆8月6日の献血運動について、本日の資料の中に当番
表が入っています。この日は例会もあり、夜は齋藤博重
直前会長の慰労会ということで、朝早くから夜遅くまで
一日よろしくお願いたします。
◆岡野バスター会長から米山記念奨学会に10万円の寄
付を頂いています。ありがとうございます。
◆テーブルの上のチョコレートは、青少年交換留学生・
島村江里香さんからのお土産になります。ご賞味くださ
い。



委員長報告

会員増強維持委員会 大塚信郎委員長

7月9日に委員会を「なす
び」で開きました。会長幹
事にも出席いただき、たい
へん盛り上がりしました。こ
の次の委員会は7月29日(水)
「なすび」で開きたいと
思いますので、それまでにいろいろ作戦を練りまして、声
掛けをしたいと思えます。



Rotary AGEO ROTARY CLUB

したいと思います。
そして浦和東クラブと連田クラブの2クラブから研修
事例の報告がありました。2クラブのクラブ研修リーダ
ーは地区幹事経験者ということで、きちんとしたクラブ
の研修と情報委員会を開催しています。感じたことの1
つに、ロータリーからはいろいろな冊子がでていますが、
それを全部読むことは難しいということで、それぞれ小
さなA4・2~3枚の資料にてお渡しして、一度一度の
セミナーの時に要点を絞ってお話しているようでした。
また対象としては入会3年未満の方へのレクチャーと
いうことでクラブ研修リーダー、情報委員会等で開催し
ていますがいざいざの問題は、中堅のクラスではないか
なというお話がありました。ロータリークラブは日進月
歩で変わっております。その流れの中で、今までとま
ったく同じような感覚でいる中堅クラスが伸び悩んで
いるという指摘がありました。私どものクラブは
老・壮・青それぞれがうまく運動しながら活動してい
るのではないかと感じています。地区の中にはそのような
クラブがあると指摘がありました。

その後、グループディスカッションが行われ、私どもの
テーブルは8クラブでセッションし、このうちクラブ研
修リーダーを設置していないのが2クラブほどありまし
た。また設置をしているが研修会を開いていないのが1
クラブありました。いろいろな話の中でみますと、R.Iの研
修を受けていない会長さんがクラブ研修リーダーにな
ってたり、地区外向経験のない会長さんが研修リーダ
ーをおうけいたったところはなかなかセミナーがクラ
ブの皆さんへのプレゼンターがうまくいっていないとい
うような相対的な話がありました。私どものクラブでもR
I.Iを経験されている会長さんが年々増えていますが、
それ以上の年代、私どもも含めて、常にロータリーのこ
とは勉強していかなければならないのかなあと思うわけ
です。

前の卓話の時に話させてくださいましたが、当初
は親睦ですから、飲んでみんなで仲間を作っていけば
いいじゃないか、少し必要を感じたら奉仕活動をすべ
ばいいという、そんな歴史がありました。今はなかなか
かそのような観点ではロータリーの増強はできないと
いうことであります。皆さんご承知の通り、ボランティア
団体だから、奉仕・サービスの団体はたくさんあります
ので、別にロータリーを選択しなくてもいいということに
なります。そうすると今入っている会員がロータリー活
動を少しでも理解しながら会員増強していかなないと入
会してもあつという間に退会してしまうということになる

の दौरानという話がありました。
それからクラブによっては、クラブでの情報委員会な
り研修会ができないとあり、そのような場合は2クラブ
合同であるとか、グループの中での新会員へのレクチャー
をこれから考えるべきであらうという話でもでていま
す。たまたま私はテーブルの発表者ということで指名さ
れ、先月の商工会議所の機関誌「石垣」に素晴らしい話
がでていました。日本には300年企業があり、職業奉仕
の観点からも100年以上の企業はドイツと日本しかあり
ません。続いている企業のいざいざのポイントは、変え
たくないものを維持したために、変えられるものを変
えていく必要があるというお話です。まさにロータ
リークラブも同じ観点で、ロータリーの基本的な精神を継
続するためには、変えられるべきものは変えていくとい
う姿勢をもっていかないとなかなか今後ロータリーの運
動は継続していかないのではないかなあという気がした
わけです。

前年度事業報告・決算報告

齋藤博重直前会長



前年度 出席委員会 富永 建委員長

事業計画の中に、昨年の
公式訪問例会と、今年の3
月19日創立記念日例会の
2回の100%例会を開催し
たいという目標をたてさせ
ていただき、1回目は1人
欠席で達成できずでしたが2回目は全員出席で
100%例会を達成できました。出席率はだいぶ高くなり
ましたが、事業計画での達成率は50%ということで報
告させていただきます。



前年度 プログラム委員会 宇多村海児委員長

昨年1年間、『自分史』と
して会員の皆様から自らの歴
史を卓話でお話いただく
ということをメインに年度
のプログラムを組み立て
てきました。『自分史』の卓
話を披露していただいた会員の方にはあらためまして御礼
を申し上げます。卓話をお願いしたのは29名の御礼
です。まだ『自分史』を披露していない会員の方がいらっ
しやいます。今年度の須田委員長と相談しながら、あら
ためてお願いをすることがあるかもしれません。その時
はまたよろしくお願いたします。1年間、プログラム委
員長として、初めての経験でしたが、個人的にも卓話の
お願いすることに関して会員皆様とお話ができ非常に
良かったなあと思っています。1年間、あらためまして
ありがとうございました。



前年度 クラブ広報委員会 長沼大策委員長

昨年度の広報では、ロー
タリーデーの告知や報告
に力を注がせていただきま
した。告知では、Twitter
で#RotaryDayとハッシュ
タグをつけて投稿しなさい
と年度計画書にあったので投稿していたら、国際ロー
タリー(Twitter日本版)からリツイートされました。ロー



タリアンのみならず、大勢の一般の方々に告知し、来場
いただけたら、という思いで投稿していましたので、講演
も物販も大盛況となり良かったなあと思いました。

前年度 ロータリー財団委員会 関口和夫委員長

皆様のご協力が無事に目標を達成できました。ありが
とうございました。

前年度 米山記念奨学委員会 島村 健委員長

昨年度から1人あたり
25,000円の寄付となり、1
05.95%の達成になり、
地区内で24番目となりま
した。昨年度、3月までは朴
さんが奨学生ということで大
塚バスターパナーにカウンセラーをお務めいただきま
した。ありがとうございました。



決算報告 前年度 久保田 勲幹事

前年度決算報告は承認されました。
会長幹事、会員皆様、お疲れ様でした。



スマイル

- 関口 和夫会長:齋藤直前会長、久保田直前幹事、お疲れ様でした。
■藤村 作幹事:本日例会欠席します。申し訳ありません。
久保田副会長、幹事報告ありがとうございました。
■久保田副会長:2014-15年度、事業報告よろしくお願致します。
■齋藤博重直前会長:前年度、若世話になりました。
■武重 秀雄会員:大雨の中、皆様ごろうさま。
■岡野 晴光会員:よろしく。
■大塚 信郎会員:宜しくお願致します。
■吉川 公夫会員:間もなく梅雨明けとのこと。御身体ご自愛下さい。
■富永 建委員長:周さん、ようこそ。
■小林 邦彦会員:本日もよろしく。
■齋藤 重美会員:尾花さん、卓話、ありがとうございました。
■尾花 正明会員:大きな災害にならない事を祈り、お疲れ様でした。
■大木 保司会員:直前会、幹事、事業報告、決算、お疲れ様でした。
■島村 健会員:直前会長、直前幹事、お疲れ様でした。
■齋藤 哲雄会員:一年間ありがとうございました。
■野瀬 将正会員:本日もよろしくお願いたします。
■宇多村海児委員長:一年間ありがとうございました。
■長沼 大策会員:尾花リーダー、ご指導ありがとうございました。
■北村 保会員:宜しくお願致します。
■門崎 由幸会員:齋藤博重年度、お疲れ様でした。
■坂本 忠光会員:よろしくお願致します。

出席率
出席 会員数 37 出席数 22 前々回確定 欠席数 1
欠席 欠席数 15 (%) 59.46 修正(%) 97.30 (M・U) 6

